

# SPA100シリーズ電話アダプタの音声回線のNAT設定

## 目的

ネットワークアドレス変換(NAT)は、IPアドレスを節約するために使用されます。未登録のIPアドレスを持つプライベートIPネットワークをインターネットに接続できます。NATは、内部ネットワーク内のプライベート(グローバルに一意ではない)アドレスを、別のネットワークに転送する前に正規のアドレスに変換します。

このドキュメントの目的は、SPA100シリーズの電話アダプタの音声回線(回線1および回線2)のNAT設定を行う方法を説明することです。

## 該当するデバイス

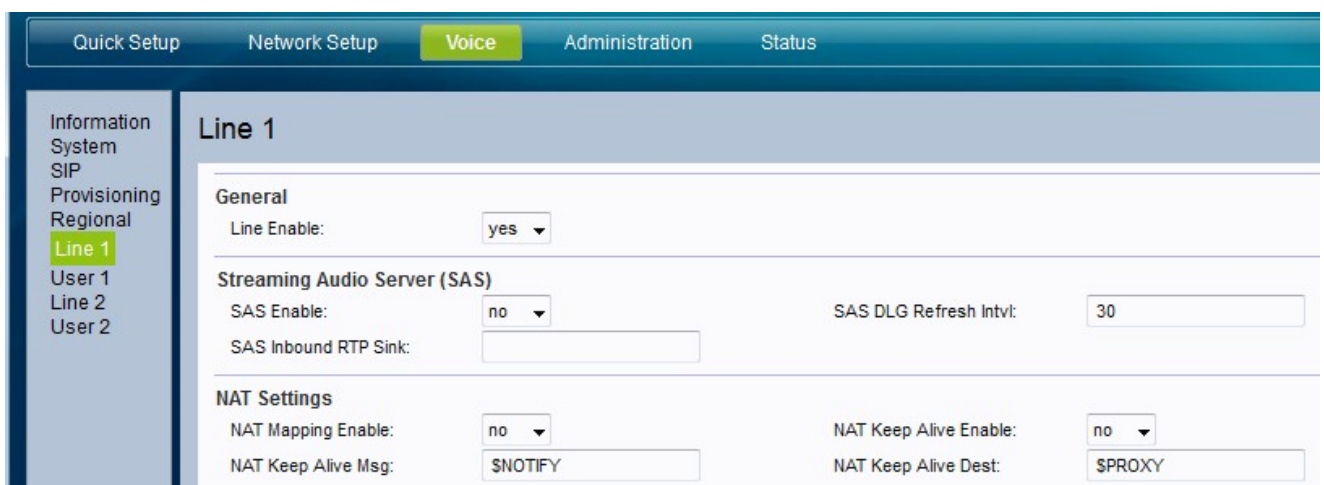
- ・ SPA100シリーズ

## [Software Version]

- ・ 1.3.1 (003)

## 音声回線のNAT設定

ステップ1: 電話アダプタ設定ユーティリティにログインし、[Voice] > [Line 1 / Line 2]を選択します。[Line]ページが開きます。



The screenshot shows the 'Voice' configuration page for 'Line 1'. The 'NAT Settings' section is highlighted, showing the following configuration:

Setting	Value
Line Enable	yes
SAS Enable	no
SAS DLG Refresh Intvl	30
NAT Mapping Enable	no
NAT Keep Alive Enable	no
NAT Keep Alive Msg	\$NOTIFY
NAT Keep Alive Dest	\$PROXY

ステップ2:[NAT Mapping Enable]ドロップダウンリストから、NATマッピングに割り当てるステータスを選択します。この機能は、IPアドレスが外部にマッピングされているかどうかを指定します。

- ・ はい : SIPメッセージで外部マッピングされたIPポートおよびSIP/RTPポートを使用します。
- ・ いいえ - マッピングを使用しません。これがデフォルト値です

ステップ3:[NAT Keep Alive Enable]ドロップダウンリストから、NATキープアライブに割り

当てるステータスを選択します。この機能は、設定されたNATキープアライブメッセージを定期的に送信するかどうかを指定します。

ステップ4:NATキープアライブメッセージで現在のNATマッピングを維持するために定期的に送信するキープアライブメッセージを入力します。可能な値は次のとおりです。

- ・ \$NOTIFY : 通知メッセージを送信するには、この値を入力します。
- ・ \$REGISTER : この値を入力すると、連絡先のない登録メッセージが送信されます。

ステップ5:NATキープアライブメッセージを受信する宛先を *NAT Keep Alive Dest* に入力します。フィールドにプローブ間隔値を入力します。デフォルト値は\$PROXYです。これは、メッセージが現在のプロキシサーバまたは発信プロキシサーバに送信されることを意味します。

ステップ6:[Submit]をクリックして、設定を保存します。